

『おほっ
これは丁寧に
仕込まれておりますな』

『時間をかけて丁寧に
無意識下で教えました
知らぬは本人のみですよ』



『おっおっ
この幼い顔立ちで
下品な肉体!』

『エルフの孤児は
市場に中々
出回りませんからねえ』



『おほっ!!
これはっ……!!』

ぬん♡

『ホラ
主の神棒にもっと
奉仕しなさい』

ぬん♡

ぬん♡

ぬん♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡

あー♡





『た、たまり
ませんのお〜』

ゾク
ゾク

は
あ

『肉壺の具合も
た、楽しみですな...』

ん

ひゅるる

ひゅるる

あ

あ

ドクン...

ひゅるる

あ

あ

ひゅるる

ひゅるる

ドクン...

あ

ドクン...

『エルフですから
人間の穴とは大違い
ですぞ...!』



『おお、その子が
例の子ですか』

『ええ、成長しましたので
今月の会合に参加
させようと思いました』

『これはこれは…
主も大層お喜びに
なりますな』

